

シルバー

人材センター

知恵と工夫の SL見学会開催

実施日：8月23日
1部 15:00~16:30
2部 17:00~18:30
場所：SL公園
主催：玉櫛小学校区
地域協議会

今回の「SL見学会」は、
コロナ感染拡大による緊急
事態宣言が発令されたこと

もあり、5月末の開催を見合わせ、8月に実施されました。

コロナの影響により各地域で開催されていた夏の恒例行事である「ふるさとまつり」が中止されるなか、どこにも行けない子どもたちのため、身近な地域の方々がコロナ感染防止対策を講じ「SL見学会」として開催したものです。
3密を避けるために「SL見学会」



SL見学会で缶バッジ・ポン菓子を配布する会員さん

を2部制にし、見学希望者を募るなどの入場制限を行いつつ準備が進められ、事前申し込み者の約8割が参加されました。
シルバーは、昨年の「SLまつり」でポン菓子出店が好評でしたので、今回も見学者へのおみやげとしてポン菓子と缶バッジ、粉末ポカリスエットを準備し、配布しました。

(小西 昭)

参加者から

コロナ禍で行事が中止になる中でも、知恵と工夫で安全に行事が行える事を実践したと思います。

一方シルバーは、ポン菓子と缶バッジの配布で子どもたちに喜んでもらえました。
(小西 章)

玉櫛小学校区で「SL見学会」が開催されシルバー人材センターも去年に引き続き、ポン菓子作りで参加させて頂きました。今年は小袋に入ったポン菓子、SL缶バッジのおみやげを渡した時の子どもたちの「ありがとう」の笑顔が印象的でした。

今回は、もっと多くの笑顔に出会えますように願っています。
(野畑 芳子)

高齢になってもお祭り好きの私は、いそいそと出かけて、皆さんの顔を見たらコロナの事をすっかり忘れてしまいました。コロナ禍の中で来場者が限定され、子どもの歓声や笑顔が少なく淋しい感はありませんが、開催されて良い思い出ができました。

来年は、ポン菓子のポーンという大きい音と共に、にぎやかなお祭りになりますように！
(深田 壽子)



シルバーの資金・運用について

大垣次長にインタビュー!!

私たち茨木市シルバー人材センターは、1500人余の会員で年間約6億4千万円の経常収益を誇ります。新型コロナウイルスという突然の事態に、マスクや消毒剤配布で対応いただき、「安心と安全」を実感できた半年間でした。そこで、新任の事務局・大垣真知子次長に、シルバーの資金や運用のポイントなどを伺いました。

財源三つ、公益法人の長所・短所

——まずシルバーの財源から教えてください。

大垣 発注者様からいただく事務費、会員さんからいただく会費、そして国と市からの補助金の3つに大別されます。

これらがシルバーの事業に使える財源です。補助金は増額されることは困難で、現状を維持することが大事です。何かアクションを起こすことにより、増やすことができる財源が事務費と会費になります。それが「会員拡大」と「就業機会の拡大」が問われる理由でもあります。

——シルバーは公益社団法人ですが、一般企業との違いは？

大垣 シルバーの場合、公益事業と社会に貢献する活動が主ですから、社会的にも信頼度が高く、税制上の優遇措置など多くの恩恵が

あります。反対に、営利を過度に追及しない、民業を圧迫しない、財源を貯め込まないなどの制約があります。

「収支相償」という言葉がありますが、シルバー

一人材センターは法律に基づく公益目的事業を行うために組織されています。この事業展開に必要な財源を確保し、最大限に活用していくことが求められており、営利を目的とする団体ではありません。

収支が合うのが原則ですが、短期間ならば利益を出しても問題ありません。例えば、平成30年度の決算は赤字でしたが、消費税率の改定を機に、令和元年度から事務費の改定にも着手し、併せて経費を見直し、黒字に転換できました。

——利点がある反面、制約も多い。大垣 シルバーの会計基準に基づく毎年の監査を必ずクリアしない



「適正な運用に尽力を！」と語る大垣次長

と、補助金カットなどのメスが入ります。限られた予算をどのように執行すれば最善の結果が得られるか、頭を悩ませるところです。

能力・体力に見合った就業目標

——ここ数年、「会員拡大」「就業拡大」が叫ばれています。

大垣 財源が増えれば、事業展開の選択肢が増えます。ですから、この会員拡大、就業拡大の二点は、全国どのシルバーにとっても永遠の課題です。今は会員さんに対して、「一人ひとりが現在の大事な就業を守ってくださいね」とお願いしたいです。

でも「就業拡大」といいますが、どんな仕事でも取ればいい、といえるものではありません。そこには「適正就業」という国のガイドラインが示されており、高齢者に見合った適正就業の範囲内の拡大が望ましいのです。

——経理担当としての考えを聞かせてください。

大垣 業務担当として長年の経験を活かし、その支出が事業を伸ばしていくために必要なのかそうでないのか、適正に見極めて予算を執行しています。少し厳しく聞こえるかもしれませんが、「不必要な支出は避け、必要な支出をする」ということです。これは、センタ

ーの事業を運営していくにあたって、最も大切なことと考えています。例えば、総会の議案書に記載されている「事業計画」は言葉ですが、言葉は読み手によって解釈や理解は様々です。これに対し、「決算書・予算書」は数字のため、万人が共通して理解できます。

業務の仕事を経て経理全般を担うにあたり、シルバーの健全な発展に努めていきたいと思っています。

(川野正照)

理事会だより

令和2年度第3回理事会が7月22日に開催されました。

▼議案

● 退会優遇制度実施要綱の廃止について

● 顧問弁護士の配置について

▼報告事項

● サポートセンター内事業の見直しについて

● 専門委員会および校区活動の推進について

● 諸般の報告

● 正会員の入会について

▼その他

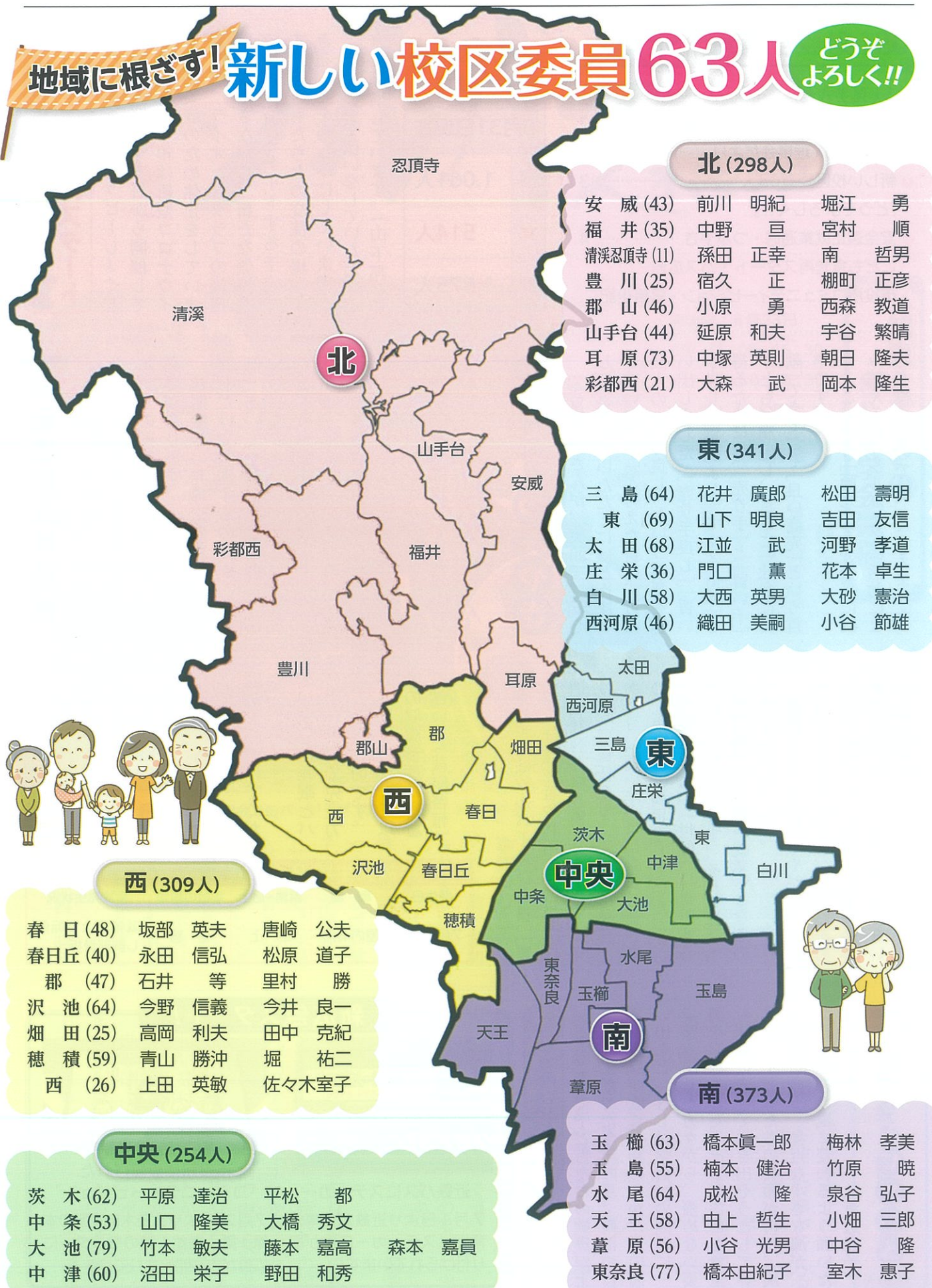
● 役員賠償責任保険について

以上の事項が審議承認されました。コロナ禍のさなか、会員の皆さまのご健康とご活躍をお祈りしております。

(野畑芳子)

地域に根ざす! 新しい校区委員63人

どうぞ
よろしく!!



北 (298人)

- | | | |
|------------|-------|-------|
| 安威 (43) | 前川 明紀 | 堀江 勇 |
| 福井 (35) | 中野 亘 | 宮村 順 |
| 清溪忍頂寺 (11) | 孫田 正幸 | 南 哲男 |
| 豊川 (25) | 宿久 正 | 棚町 正彦 |
| 郡山 (46) | 小原 勇 | 西森 教道 |
| 山手台 (44) | 延原 和夫 | 宇谷 繁晴 |
| 耳原 (73) | 中塚 英則 | 朝日 隆夫 |
| 彩都西 (21) | 大森 武 | 岡本 隆生 |

東 (341人)

- | | | |
|----------|-------|-------|
| 三島 (64) | 花井 廣郎 | 松田 壽明 |
| 東 (69) | 山下 明良 | 吉田 友信 |
| 太田 (68) | 江並 武 | 河野 孝道 |
| 庄栄 (36) | 門口 薫 | 花本 卓生 |
| 白川 (58) | 大西 英男 | 大砂 憲治 |
| 西河原 (46) | 織田 美嗣 | 小谷 節雄 |

西 (309人)

- | | | |
|----------|-------|-------|
| 春日 (48) | 坂部 英夫 | 唐崎 公夫 |
| 春日丘 (40) | 永田 信弘 | 松原 道子 |
| 郡 (47) | 石井 等 | 里村 勝 |
| 沢池 (64) | 今野 信義 | 今井 良一 |
| 畑田 (25) | 高岡 利夫 | 田中 克紀 |
| 穂積 (59) | 青山 勝冲 | 堀 祐二 |
| 西 (26) | 上田 英敏 | 佐々木室子 |

中央 (254人)

- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 茨木 (62) | 平原 達治 | 平松 都 | |
| 中条 (53) | 山口 隆美 | 大橋 秀文 | |
| 大池 (79) | 竹本 敏夫 | 藤本 嘉高 | 森本 嘉員 |
| 中津 (60) | 沼田 栄子 | 野田 和秀 | |

南 (373人)

- | | | |
|----------|-------|-------|
| 玉櫛 (63) | 橋本眞一郎 | 梅林 孝美 |
| 玉島 (55) | 楠本 健治 | 竹原 暁 |
| 水尾 (64) | 成松 隆 | 泉谷 弘子 |
| 天王 (58) | 由上 哲生 | 小畑 三郎 |
| 葦原 (56) | 小谷 光男 | 中谷 隆 |
| 東奈良 (77) | 橋本由紀子 | 室木 恵子 |

※校区名(会員数) 校区委員名 8月31日現在

もくじ

silver

- SL見学会 1
- 大垣次長にインタビュー(資金・運用 …… 2
について)・理事会だより
- 新しい校区委員63人 3
「どうぞよろしく!!」
- 安全適正就業通信・つぶやき 4
こども食堂再スタート・バス広告
市役所コミュニティビジョン・編集後記

皆さんの仲間
(会員数)

8月31日現在	
男	1,061人
女	514人
計	1,575人

★ハッピーしょくどう★
こども食堂再スタート



こども食堂「ハッピーしょくどう」は平成30年4月から開催してきました。今年は新型コロナウイルス感染症のため休止をしていましたが、ライオンズクラブの後援もいただきながら、新たな気持ちで10月に再スタートする予定です。子どもたちとの交流の場ができることを楽しみにしています。また、お手伝いをしていただける方を募集しています。(山下邦子)

安全適正就業通信



今年の冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備える必要があります。

初期症状の発熱や倦怠感などだけで判別するのは医師であっても難しいと言われています。

茨木市内在住の65歳以上の方は、無料でインフルエンザの予防接種が受けられます。詳しくは「広報いばらき」10月号やかかりつけの病院などで確認してください。

今年以上に感染症対策には注意が必要です。どちら

も主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。引き

続き、手洗い・うがい・マスク・こまめな換気・「3密」の回避を心がけてください。

併せて、十分な睡眠とバランスのよい食事で免疫力を高めることも大切です。今年の冬は、これまでに以上に日頃の健康管理に留意してください。(萩原啓輔)

事務局長 つぶやき

「会員の皆さんが、笑顔で、安心して就業していただくにはどうすればいいのか?」と考えた折に、近江商人の「三方よし」という言葉を思い出しました。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」です。「信頼」を得るためには、「売り手」と「買い手」がともに満足し、さらに「社会に貢献」できてこそ「良い商売」という哲学です。

ここでいう「商売」を「就業」に読み替えると、シルバーでの活動にとても役立つのでは、と考えました。

事故発生状況一覧表 (令和2年8月末まで)

発生日	職種	就業・途上	事故の種類	事故発生状況
7月22日	屋内清掃	途上	傷害	就業途上で転倒し胸部骨折

編集後記

あちこちで子どもたちの歓声が上がるはずだった今年の夏。何につけても逆風が吹く活動のなか、夏の思い出をと「SL見学会」の開催に一歩踏み出した方々から、諦めない姿勢を学びました。そしてこども食堂も開催に向けて動き出そうとしています。子どもたちの笑顔が再び、戻って欲しい! 身近な小さな風が、大きく心打つ風に変わるようお願いいたします。(渡辺光子)

●前号に引き続き、変則版となっています。

新広告スタート!



近鉄バスにステッカー

7月1日より近鉄バス車体背面にステッカー広告が取り付けられています。



市役所に設置された
“コミュニティビジョン”

7月28日より、茨木市役所の本館1階、南館1階のモニターに広告が放映開始されています。